

昇龍道担い手ネットワーク会議〈担い手・インバウンド事業〉

上野田 隆平 氏



【飛騨地酒ツーリズム協議会
会長】

飛騨酒造組合が立ち上げた飛騨地酒ツーリズム協議会の会長を務める。岐阜県下呂市萩原町の天領酒造(株)代表取締役。同協議会は岐阜県飛騨地域（高山市、飛騨市、下呂市）の12の酒蔵、白川村のどぶろく祭りの館及び行政が連携し、地酒のみならず、飛騨地域の歴史文化を旅行を通じて発信する取組を進めている。



小澤 秀彦 氏



【名古屋鉄道(株)グループ統括本部
事業推進部インバウンド担当課長】

名鉄グループ全体のインバウンド事業を担当。名鉄グループは、中部・北陸で事業を展開しており、昇龍道エリアとぴったり重なっている。名鉄グループが実施しているインバウンドの取組は、主に①受入環境整備、②エリアプロモーション、③グループ内の体制強化の3つとなっている。「昇龍道高速バスきっぷ」を販売。



新滝 祥子 氏



【(株)ゆのくにの森
取締役 社長室長】

石川県小松市で「加賀伝統工芸村ゆのくにの森」を経営。村内の古民家では50種類の伝統工芸体験ができる。インバウンドには約20年前から取り組み、主に台湾、香港を中心に積極的な誘致活動を展開している。現在、ゆのくにの森には、年間約4～5万人の外国人旅行者が来訪しており、全体来場者の5人に1人程が外国人となっている。



昇龍道担い手ネットワーク会議〈担い手・インバウンド事業〉

瀧 康洋 氏



【(一社)下呂温泉観光協会
会長】

日本三名泉のひとつ下呂温泉。インバウンドの受入は20年前から取り組み、台湾への誘客活動を1987年から実施している。2012年には地方温泉としてはいち早い対応となったJNTO認定外国人観光案内所を設置し、受入環境整備を強化。年間の外国人宿泊者数は約9万人。

(株)水明館 代表取締役社長。



竹内 佑騎 氏



【清水港客船誘致委員会】

静岡県の清水港で客船誘致を展開。1990年より客船誘致活動を行っており、成果が出てきたのは最近。2017年1月に清水港が国際クルーズ拠点に選定され、今後の寄港に大きな期待が寄せられる。

(株)竹屋旅館 代表取締役。



野村 薫 氏



【(有)兵吉屋 専務】

日本一海女の人口の多い三重県鳥羽市の相模地区において、2004年より海女小屋はちまんかまどを運営。外国人対応のサービスや受入環境整備を先行的に進めたほか、各種プロモーション活動が実り、年々外国人来訪者が増加。

2014年には経済産業省のおもてなし経営企業に選出されたほか、2016年には、第1回日本サービス大賞の地方創生大臣賞を受賞。

